

算数

小学校 第5学年

OS・ソフト等

- ・ iPad
- ・ NEW! GIFU ウェブラーニング

<単元・題材名等>

単位量あたりの大きさ

ねらい

どちらのリボンが安いか、どちらの車の燃費がよいかなど、比較をする問題に取り組む活動を通して、数直線図に数量の関係を表し、1あたりの大きさを求めれば比較できることに気づき、問題を解決することができる。

主なICTの活用方法

- ・ 単元別分析シート等を活用して児童の実態を捉え、支援が必要な児童を中心に指導・援助を行う。
- ・ 終末の場において、リアルタイム把握機能を活用し、個々の定着状況に応じた指導・援助を行う。

ICTを通じて育成する資質・能力

- ・ 「NEW! GIFU ウェブラーニング」の問題に取り組むことによって、1あたりの大きさの考えを基に、問題を解決することができる。

実践の概要

【導入】

- ・ 本時の問題場面や数量の関係を把握する。

【個人追究】

- ・ 自分に合ったヒントカードを基に問題を解決する。ヒントカードは、「NEW! GIFU ウェブラーニング」のレディネステストや単元別分析シートの結果を踏まえ、児童に手渡す。

【全体交流】

- ・ 考えの交流を通して、それぞれの考え方を比べ合う。

【終末】

- ・ 「NEW! GIFU ウェブラーニング」に取り組む。その際、リアルタイム把握機能を活用して、困り感をもつ児童に対して、指導・援助を行う。



児童の学びの様子

- 個人追究の場では、レディネステストや単元別分析シートを基に教師が事前に作成したヒントカードを、児童の学習状況に応じて活用することで、一人一人が自分の考えをもつことができた。
- 練習問題の場では、リアルタイム把握機能で捉えた困り感をもつ児童に対し、教師が適切に指導・援助を行うことで、難しい問題に対しても粘り強く取り組むことができた。

指導のポイント

- 授業前に「NEW! GIFU ウェブラーニング」のレディネステストや単元別分析シートを確認し、困り感をもつことが予想される児童を把握し、指導の個別化を図る。
- 「NEW! GIFU ウェブラーニング」のリアルタイム機能を使って、困り感をもつ児童に対し、効率的かつ効果的な指導・援助を行う。